

いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配をせず 「保険で良い歯科医療」の 実現を求める請願署名

衆議院議長・参議院議長 殿

口腔ケアが高齢者の誤えん性肺炎を減らすこと、歯科治療が日常生活能力や運動機能の改善につながっていることが明らかになっています。

全国保険医団体連合会が実施した「歯科医療に関する1万人市民アンケート」では、9割の人が「歯は全身の健康にとって大切」と答えています。しかし、4割近くが「時間がない」「お金がない」と歯科にかかれなくなっています。

働く人の3人に1人は非正規労働、4人に1人は年収200万円以下という社会状況を背景に、高い窓口負担のために歯科治療を中断する人が6割にのぼっています。

先のアンケートでは9割を超える人が「保険のきく範囲を広げてほしい」と答えています。高い窓口負担に加え、歯科では保険のきかない治療が歯科受診を妨げる要因になっています。

一部負担金が免除された東日本大震災の被災地で、歯科受診する人が増えているように、いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配をせず「保険で良い歯科医療」を実現することは、患者、国民、歯科医療担当者の共通の願いです。

そのため、国の歯科医療にかかる予算を増やし、以下の事項の実現を求めます。

請 願 項 目

- 1、お金の心配をせず、歯科医療が受けられるよう、窓口負担割合を引き下げてください。
- 2、保険のきく歯科治療の範囲を広げてください。

お名前	ご住所